
結論は簡単すぎて、それでいて簡単

青木弘樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

結論は簡単すぎて、それでいて簡単

【Nコード】

N8773Q

【作者名】

青木弘樹

【あらすじ】

あつけない結末に、衝撃を受けてください（笑）

(前書き)

超・短編です

作：青木弘樹

「困った…。非常に困った」

仲間マサルは困っていた。

2時間前にカレーライスを食べ終わっているマサルは、いったい何を困っているというのか？

1時間前に風呂に入り終わっているマサルは、いったい何を困っているというのか？

健康面に問題はないようだ。金銭面も…まあ貧乏人だが差し迫った問題はないようだ。最近、電子レンジの調子が少し悪いようだ、それも特に問題はないようだ。

「うゝむ困った…どうしようか…」

だから何を困ってるんだよ、まったく。

「問題は…選択だな…」

洗濯？いや、選択か。夜食をシーフードヌードルにするか、カレーヌードルにするかでも迷っているのだろうか？だったら両方買えばいいだろ？

「順番が問題なんだよなあ…」

そろそろ説明しよう。実はこういうことである。

マサルには今、目的があった。それは「ドラゴン星矢の奇妙な冒険」という漫画を買いに行くという目的だ。全12巻なのだが、マサルは1巻と3巻しか持っていない。昔の漫画なのだが、そんなに売れたわけでもないのに妙に人気があって、なかなか見つからないのだ。

マサルの家からは古本屋は3軒ある。北に1軒、南に1軒、東に1軒だ。マサルは車は持っておらず、自転車で行くのだが、どの店

も往復でいたい30分はかかる。

ちなみに西には普通の本屋（古本屋ではないということ）もあるが、目的の漫画は古いので、もう扱っていない。

そして問題は閉店時間だ。どの店が何時に閉まるかを、きちんと把握していないだ。

たしか、ある店は23時、ある店は23時30分、ある店は24時だったと思う。

そして現在22時30分。

「うまくやらないと、1軒しか行くことが出来ないな……」
なんだ、そういうことか…。

例えば24時に閉まる店に一番最初に行ってしまうと、23時に閉まる店には絶対行けないので、2軒しか行くことが出来ない。

24時に閉まる店に一番最初に行った後、間違って23時に閉まる店に行ってしまうと、23時30分に閉まる店にも行けなくなつて、無駄な労力を使うだけだ。

つまり24時に閉まる店に一番最初に行くという事態だけは、なとしても避けなければならない。

23時30分に閉まる店に一番最初に行った場合、次に23時に閉まる店に行ってしまったとしても、24時に閉まる店には行ける。もちろんベストなのは、23時に閉まる店↓23時30分に閉まる店↓24時に閉まる店、という順番で行くことだが、世の中そんなに甘くはないと、マサルはそう考えていた。

そして、目的の漫画があるかどうか。それも問題である。

先にも行ったように、なかなか置いていないのだ。

マサルが持っている1巻と3巻は、1ヶ月ほど前に、たまたま友人と都会のほうへ遊びに行ったときに手に入れたものである。

マサルが住んでいる田舎では、なかなか見つからない。

都会は人が多く、ごみごみしているが、漫画コミックやゲームやDVDは田舎に比べれば見つかりやすいので、マサルは将来的には都会で暮らしたい、そう思っていた。

「さて…」

マサルは5分ほど考えて、ある結論にたどり着いた。
それはシンプルで、合理的な結論だった。

「よし。明日にしよう」

まさかの結論。

今までのだらだらした説明は何だったのか？

「夜も遅いし、今日はおとなしくテレビでも見よう」

これは…まあ…賢いと言えば賢い。とはいえがっかりだ。チャレンジング・スピリッツの欠片もないやつだまったく…。

仲間マサルよ…君の人生に…チャレンジング・スピリッツあれ。

というわけである。なんとなくだが、申し訳ない気分でいっぱいだ。

しかし！

あらゆる物事は期待はずれであることが多い。

そう！世の中そんなに甘くないのである。

余談だが、牛丼屋は冬場は熱いお茶を出す、冷たいお茶のほうがいいと思わないか？

マクドナ・ドのポテトは、味が薄くないか？

シングルCDは1曲入り500円にしたほうがいいと思わないか？

赤い彗星は地に堕ちたか？

明日も頑張つて生きよう。人生は3歩進んで2歩さがる。
そんなもんだね

（後書き）

他の作品も、よろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8773q/>

結論は簡単すぎて、それでいて簡単

2011年2月13日17時52分発行